

宮城県南部地域養殖復興プロジェクト養殖復興計画書
(宮戸支所ノリ部会)

地域養殖復興 プロジェクト名称	宮城県南部地域養殖復興プロジェクト		
地域養殖復興 プロジェクト運営者	名 称	宮城県漁業協同組合	
	代表者名	代表理事理事長 阿部 力太郎	
	住 所	宮城県石巻市開成1番27	
計画策定年月	平成 24年5月	計画期間	平成 24年7月～27年5月

1 目的

宮城県漁協宮戸支所は、宮城県の中部に位置し、平成21年度末時点の正組合員が、58名、準組合員29名、合計87名、出資金70,310千円で養殖、漁船漁業・定置網漁業が営まれている。その中で養殖漁業は、ノリ養殖が主に行われ、ノリ生産額は、生産数量1億1千万枚、生産額は9億円で、当地区の重要な産業であり、積極的に担い手の育成も図ってきた。

しかしながら、平成23年3月11日発生 of 東北地方太平洋沖地震とその津波により、洋上の養殖施設、陸上の加工施設が壊滅的な被害を被り、漁船等も7割以上を失った。

宮戸支所のノリ養殖漁家においても、震災前にあった施設は、9割以上流失し現在加工施設、養殖施設等の復旧を進めているところであります。

又、ノリ養殖業者も震災前は33経営体であったが、廃業者4名・転養者11名・現在は18名と新たに1名加わり19名となっている。

ノリ養殖業の早期復興と組合員の漁業経営の早急な再建を、実現させる必要がある。

本計画において様々な共同作業等の取組を行うことにより、生産性の向上と経営の安定化を図り、養殖業の早期復興を目的とするものである。

2 地域養殖復興プロジェクト参加者等名簿

1. 地域養殖復興協議会委員

	所属機関名	役職	氏名	備考
養殖関係	宮城県漁業協同組合	理事	小野 秀悦	役職指定
養殖関係	宮城県漁業協同組合塩釜総合支所	運営委員長	千葉 眞澄	役職指定
養殖関係	宮城県漁業協同組合塩釜総合支所	支所長	佐藤 淳一	役職指定
地方公共団体	宮城県仙台地方振興事務所水産漁港部	部長	松平 清	役職指定
地方公共団体	東松島市産業部農林水産課	課長	涌澤 晃	役職指定
地方公共団体	塩竈市産業環境部水産振興課	課長	小山 浩幸	役職指定
地方公共団体	七ヶ浜町産業課	課長	伊丹 克己	役職指定
地方公共団体	亘理町農林水産課	課長	東 常太郎	役職指定

2. 宮戸支所ノリ部会委員

	所属機関名	役職	氏名	備考
養殖関係	宮城県漁業協同組合宮戸支所	運営委員長	小野 喜夫	役職指定
養殖関係	宮城県漁業協同組合宮戸支所	ノリ養殖業者(会長)	千葉 富夫	
養殖関係	宮城県漁業協同組合宮戸支所	ノリ養殖業者(副会長)	菊地 勇	
地方公共団体	宮城県仙台地方振興事務所水産漁港部	水産振興班主任主査	須藤 篤史	役職指定
地方公共団体	東松島市産業部農林水産課	農林水産振興班班長	奥田 孝信	役職指定

3 震災前の養殖業の概要

宮戸支所はノリ養殖が盛んな地区の支所であり、ノリ養殖が主な養殖産業となっている。平成21年度（生産年度）のノリ養殖は、33経営体で生産量1億1千万枚、生産額は9億円であり、その他養殖としては、かき養殖で0.2億円の生産額となっている。

・震災前の施設等の状況

施設名	所有者 (個人・共同利用の別)	規格	施設数
養殖施設	個人所有	別紙①のとおり	筏1502台
のり加工施設	個人所有	30坪他	18棟
のり乾燥機	個人所有	6～8連機	18台
作業船(摘み船)	個人所有	1.4～2.6トン (30～35尺)	18隻
作業船(網洗い船)	個人所有	1.3～2.6トン (25～35尺)	20隻
作業船	個人所有	0.2～2.2トン (16～33尺)	70隻

4 被災状況

	規格及び数量	金額	被災内容
養殖施設	1502台	287,860千円	滅失
ノリ加工施設	建屋 × 15棟	188,000千円	滅失・損壊
ノリ乾燥機	機械一式 × 15台	337,000千円	流失・修理
作業船	16尺～35尺 × 60隻	120,910千円	流失・修理
養殖生産物		180,000千円	流失

5 計画の内容

(1) 共同化の取組

加工施設・養殖施設の共同化

・これまでの取組

震災前は各生産者が加工施設、養殖施設を所有し厳しい管理の基、良品のノリをより多く生産することに取組み、各加工施設毎にオペレーターを配置し異物混入の選別等を徹底してきた。

・これまでの問題点

各生産者毎に、加工施設・養殖施設を所有していたため、漁期終了後のメンテナンス料や一日の加工前の乾燥機の温度を上げるためのバーナー燃料費、加工終了後の清掃のための電気水道代が加工施設毎にかかっており、オペレーターも加工施設毎に配置していたため人件費も多くかかっていた。

・加工施設・養殖施設の共同化の取組

加工・養殖施設の共同化に取り組むことにより以下の効果を見込む

- ① 建屋及び機械の投資額を削減することが見込める。
- ② 漁期終了後のメンテナンス料を削減することが見込める。
- ③ 一日の加工前の温度を上げるためのバーナー燃料費、加工終了後の清掃のための水道光熱費の削減が見込める。
- ④ 共同で漁場を行使することにより筏を細分化することなく行使できるのでグループの筏を近くにまとめることができ作業性が向上することにより移動の燃料代の削減が見込める。
- ⑤ グループの筏が近くにまとまることにより管理もしやすくなり、ノリの品質の均一化が見込める。

(2) がんばる養殖復興支援事業の活用

- ・事業実施者：宮城県漁業協同組合
- ・生産契約先又は契約養殖業者名：別紙②のとおり
- ・実施年度：平成24年度～26年度

・取組みスケジュール

年	期 間	24年	25年	26年	27年
検討期間	24年3月～5月			
事業期間1	24年7月 ～25年5月	—	—		
事業期間2	25年6月 ～26年5月		—	—	
事業期間3	26年6月 ～27年5月			—	—

(3) 施設復興計画

施設名	所有者(個人・共同利用の別)	規格	震災前	復興1期目	復興2期目	復興3期目	活用する事業名
養殖施設	個人所有	別紙①のとおり	1502 台	1,101 台	1,101 台	1,101 台	養殖施設 災害復旧 事業
				189 台	274 台	339 台	個人購入
刃加工施設		30～60 坪 1階建	18 棟	7 棟	7 棟	7 棟	水産業協同 利用施設復 旧支援事業
				4 棟	4 棟	4 棟	個人所有
海苔 乾燥機		6～10 連機	6～8連機 18 台	10連機×5台	10連機×5台	10連機×5台	水産業協同 利用施設復 旧支援事業
				6連機×2台 8連機×4台	6連機×2台 8連機×4台	6連機×2台 8連機×4台	個人所有
作業船	個人所有・共同利用(宮城県南部施設保有漁協所有)	16尺～35尺 (0.2～2.6トン)	108 隻	34 隻	34 隻	34 隻	共同利用小型漁 船建造事業・共 同利用漁船等復 旧支援対策事業
				46 隻	46 隻	46 隻	個人所有

(4) 生産量及び経営体数

項目	震災前	復興1期目	2期目	3期目
生産量 (千枚)	59,368	51,130	54,530	57,030
生産金額 (千円)	497,611	428,660	457,460	477,960
経営体数	18経営体	19経営体	19経営体	19経営体

(5) 復興に必要な経費

(単位：生産量は千枚、その他は千円)

	震災前の状況	復興1期目	2期目	3期目
収 入				
生産量(千枚)	59,368	51,130	54,530	57,030
生産金額(千円)	497,611	428,660	457,460	477,960
その他生産額	5,392			
経 費	491,589	543,730	483,850	470,770
支払金利	2,233	3,180	2,790	2,440
損害保険料	4,985	3,890	3,780	3,660
公租公課	4,111	2,150	1,750	1,300
漁業権行使料	3,432	2,910	3,100	3,240
漁業施設共済掛金	0	3,900	4,150	4,340
人件費	167,094	155,930	164,440	171,870
その他の経費	18,762	12,200	12,200	12,200
水道光熱費・燃油代	75,323	78,280	83,510	87,380
種苗代	6,904	6,730	7,300	7,790
養殖資材代	79,589	49,830	32,070	48,140
修繕費	28,085	14,100	17,770	19,770
販売費	30,732	26,310	28,050	29,320
減価償却費	70,339	77,150	59,230	39,550
施設利用料		107,170	63,710	39,770
収 支	11,414	-115,070	-26,390	7,190
償却・利用料前利益	81,753	69,250	96,550	86,510

<養殖の生産方法>

海苔生産期間は11月から5月までの7ヶ月間。5月から10月までは養殖の準備期間にあたり周年作業が生じる。

生産は11月から12月までの秋芽生産と、種付後に冷凍保管した網を秋芽終了後に張り込む冷凍網生産にわけられる。

<経費等の考え方>

損害保険料	…	火災保険料・漁船保険料等
公租公課	…	建屋、機械等に係る固定資産税等
漁業権行使料	…	ノリ漁場行使料
漁業施設共済掛金	…	養殖筏の共済掛け金
人件費	…	経営者、専従者、期間雇用者の賃金
その他の経費	…	通信費、車両経費、雑費等
水道光熱費・燃油代	…	加工施設の水道、電気、燃料代、漁船の燃料代
種苗代	…	糸状体、陸上採苗代
養殖資材代	…	活性処理剤、共販用ダンボール、ノリ簀等
修繕費	…	機械、船舶の修繕費
販売費	…	販売手数料5.5%と海苔検査手数料100枚5.5円
減価償却費	…	加工施設、養殖施設で資産計上されているもの
施設利用料	…	南部施設保有漁協への支払を試算

6 復興後の目標

(1) 生産目標

	震災前		10年後
養殖施設	1502 台	→	1440 台
陸上施設	建屋 18 棟 海苔乾燥機 6~8 連機 18 台		建屋 11 棟 海苔乾燥機10連機5台 8連機×4台 6連機×2台
養殖業者数 常時養殖従事者数 臨時雇用者数	18 経営体 49人(経営者含む) 95人		19 経営体 35人(経営者含む) 89人
生産量	59,368 千枚		57,030 千枚
生産金額	497,611 千円		477,960 千円

(2) 生産体制

陸上・海上作業とも共同生産体制を確立することにより、経費の削減を図ることが見込めるものとともに効率的な生産体制で行うことができる。又、経費の削減等により、漁家経営の安定と収支の改善を図っていくこととしている。販売等については全量を共同販売により販売していく体制とする。

7 復興計画の作成に係る地域養殖復興プロジェクト活動状況

実施時期	協議会・部会	活動内容・成果	備考
平成24年6月11日	第3回宮城県南部地域養殖復興協議会	(1) 第1・2回宮城県南部地域養殖協議会の議事録の承認について (2) 宮城県南部地域復興プロジェクト設置要綱の変更報告について (3) 宮城県南部地域養殖復興協議会会長代理の選任について	
平成24年6月11日	第1回宮戸支所ノリ部会協議会	(1) 宮戸支所ノリ部会の会長並びに会長代理の選任について (2) 宮城県南部地域復興プロジェクト養殖復興計画書の部会承認について	
平成24年6月11日	第4回宮城県南部地域養殖復興協議会	(1) 宮城県南部地域復興プロジェクト養殖復興計画書の承認について (2) その他	

